

主催：NPO法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ

旧三井三池炭鉱

# 有明坑立坑櫓一般公開

平成19年12月8日(土) 13:00~15:30

現在の所有者の方の厚意で公開されることになりました  
施設の解体が進み、現在残されているのは二本の櫓のみです。

有明坑立坑櫓は、みやま市大牟田市のランドマークです



台形の第一立坑櫓  
Z型の第二立坑櫓  
建設主体の違いが  
2つのデザインの  
違いを生みました

どちらの立坑櫓とも  
三池炭鉱の閉山まで  
人員の昇降用として  
利用されていました

有明鉱について 平成9年3月30日の旧三井三池炭鉱閉山の際に、最後まで鉱員・職員が入昇坑した坑口が旧「有明坑」です。閉山時には多くの報道陣が取材し、最後の三池炭鉱の様子、特に立坑施設の巻揚機稼動の様子や出入りする鉱員・職員を映し出し、「閉山」の象徴的な舞台となりました。「三池炭鉱最後の坑口」として、歴史的な記念碑的価値のある坑口です。また、地域住民にとっては大牟田・みやまのランドマークとしても親しまれています。

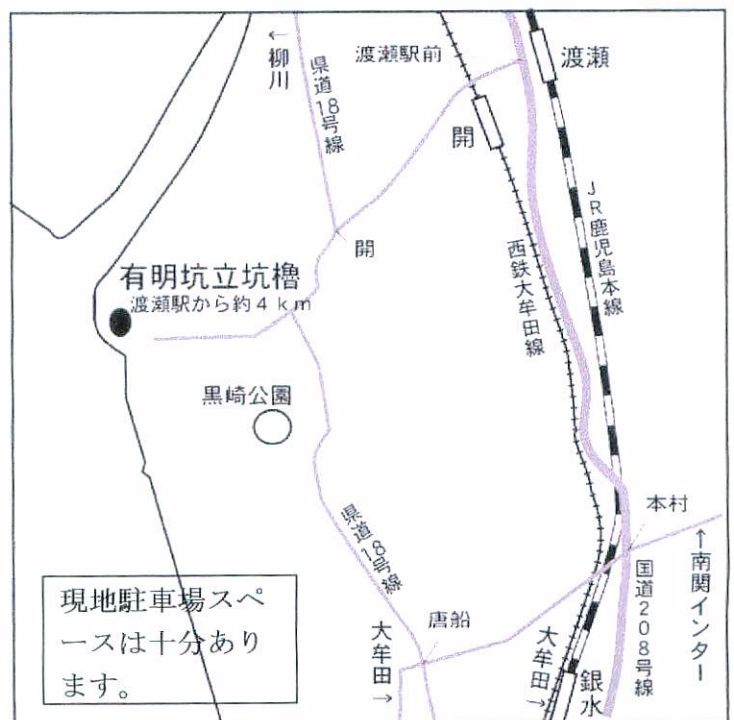
有明坑は当初日鉄が開発し昭和42年に2つの立坑が竣工しました。その後、三井鉱山系の有明炭鉱に引き継がれました。第一立坑やぐらが台形、第二立坑やぐらがZ型をしています。国内で現存する立坑のセットでは唯一の形式です。三池炭鉱関連施設群が、九州・山口近代化産業遺産の一部としてユネスコ世界遺産登録への動きがある中、周辺施設は失われましたが、三池炭鉱の規模を知る上でも重要な遺産です。

現地までの公共交通機関はありません  
歩きやすい靴や服装でおいでください

お問い合わせ先

電話：0944-52-7026

email: info-c@omuta-arao.net



現地駐車場スペースは十分あります。